

H27後期学校評価の結果を振り返って

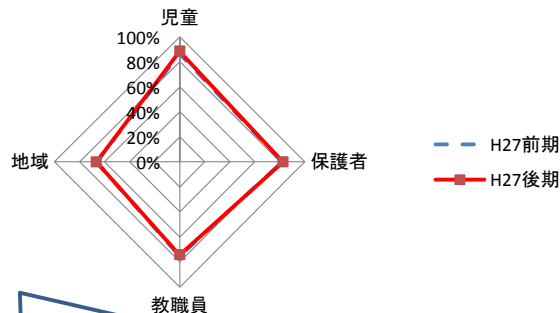
京都市立久我の杜小学校

冬休み前に実施した学校評価の結果をまとめましたので、お知らせします。グラフのポイントは、実現度「よくできている」「できている」を合わせたものです。

実現度について「H27前期」と「H27後期」の比較をしました。

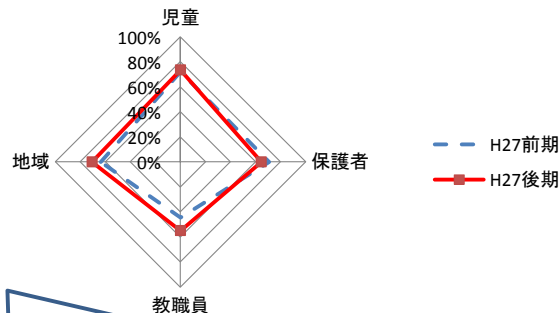
* 地域の方に関しては、答えられる範囲で回答いただいたものを使用しています。

授業の内容がよくわかる。



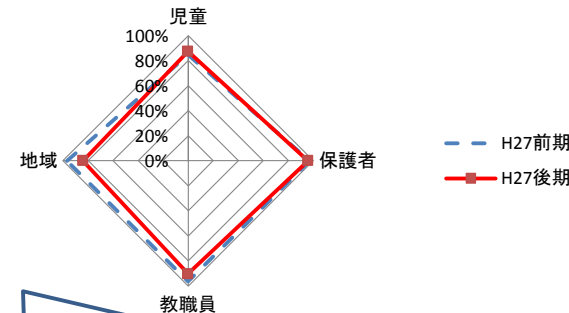
前期の水準を保っている。児童の回答では「重要度で2%、実現度で2%」上昇している。後期の学習は、前期分に積み上げていく学習内容となっているが、その状況で「授業の内容がよくわかる」ことは学力の定着と向上への大きな一歩であると考えられる。ICT機器の効果的な利用をはじめ、「わかる授業づくり」に力を注いでいきたい。

家庭学習は、毎日（学年×15分程度）できている。



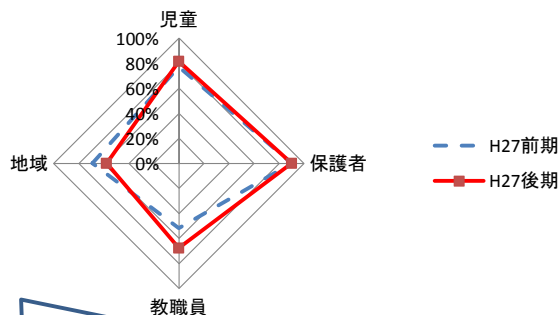
児童の上昇は毎日のすべき課題が定着してきたこと、周囲の声かけとともに自分自身で進めていることがあげられる。一方で、「学年×15分程度」は一つの時間的なめやすであり、内容面の目標も今後例示していくことが学習意欲につながると思われる。

子どもたちは学校に行くことがたのしい。



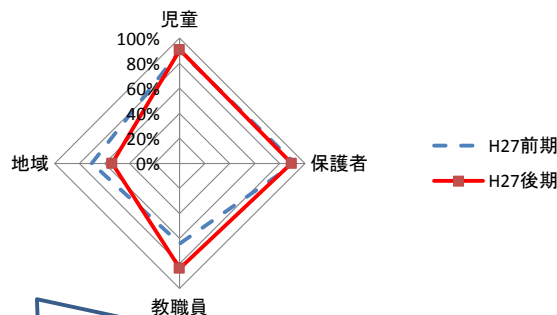
児童の回答から、重要度・実現度ともに改善されている。「（あまり）重要ではない・できていない」と答えた児童は数%未満存在しており、今回もこの結果を重く受け止めなければならない。また、児童一人一人が学校生活にめあてを持ち、活動できるようにしていくことが重要である。

子どもたちは学校のきまりや約束事を守っている。



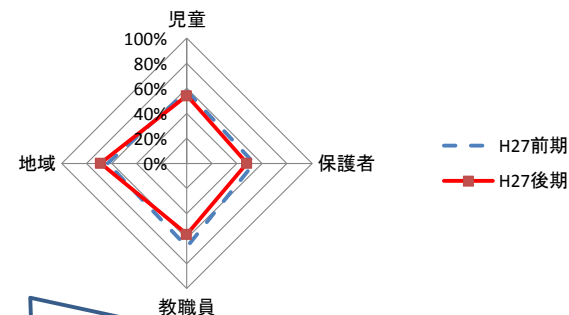
今回のアンケートで大きく変化があった。きまりや約束事を守る姿勢は、児童の内面の安定とともに学習姿勢の向上、自己実現への行動に結びつく。自分を大切にすること、仲間を大切にすることの指導を継続させていきたい。一方で、校外での過ごし方についてもより多くの目で見守って

子どもたちは周りの人を大切にしている。



前期の結果を受けて、子どもたちの言葉や行動から人を大切にしている場面を大切にとらえてきた。まだまだ十分ではない部分もあるが、小さな変化を認めていくことで自他を理解し認めていく関係づくりを進めていきたい。

子どもたちは地域やPTAの行事に参加している。



PTA・地域などたくさんの方にお世話になって子どもたちを健やかに育てていく取り組みが実施されている。楽しみにしつつも残念ながら当日に参加できない子どもたちもいるが、参加している子どもたちの喜んでいる表情がとても印象的である。

重要度の集計結果から

児童の結果はほぼ全項目であがっており、全項目で100%に近付いています。各あいさつ運動の効果から、あいさつの重要度が改善されています。重要度の結果は取り組みを進めてほしい「願い」であるとともに、学校として大切にしていること、指導に力を入れていることについて、ご理解いただいている指標でもあります。子どもたちが行動に結び付けられるよう引き続き指導していきます。

実現度の集計結果から

児童の結果は15項目中9項目で大きく上がっており、それ以外の6項目は前回と同水準でした。しかしながら、「早寝早起き朝ごはん」の項目については低下しており、学年のまとめ次年度への結びつきとして改善が必要と思われます。

H27前期とH27後期の結果から

児童は重要度による意識の向上にあわせて、実現度も改善されています。より望ましい姿に向かって着実に一歩ずつ「意識と行動」を変化させている段階にあります。「あいさつ」をはじめまだまだ十分とは言えない状況もありますが、子どもたちの内面の変化や行動に移す力は小さくても「自らを変えようと意識を変え、行動に結びつけようとする努力」はとても大きなものです。その変化を育て上げ、成功体験へと結びつけていく支援が重要となります。よって、子どもたちが頑張り続けていけるように応援する声かけを今後も続けていくことが大切であると思います。